

!!! 始開々愈

南京城正面総攻敵手!

砲声城外に轟き、敵は正に酣

(上海八日) 我軍は八日早曉に期し一斉に南京城正面の總攻撃の火蓋を切つた。戦況有利に展開。砲声は南京城外の山野を逐し、戦線は正午頃に至り益々激しなり。

(上海七日) 敵の見地は甚つて、徒らに武力を以て我軍を威嚇するに際し、先づ敵軍司令部に對し動員一團の首都を陥落させることは、降伏を強いて城下の諸軍を有る以て正に神策大書すべき。しめ、敵軍が屈服せざる場合に、我軍として正に武力を以て之を討つ。

蔣介石飛行機で南京脱出

(上海八日) 據報に依ると蔣介石は七日早朝二時、米人パイロットの操縦するボーイング機で南京を脱出すること判明。更に近く江蘇省と会見のため漢口に赴くと云はれる。

(倫敦七日) 南京脱出の電報は蔣介石は夫々時と南京脱出の際、日本軍飛行機に発見され死物として処置され、幸して免れた。日本軍飛行機が蔣介石を乗せていると知り、砲撃隊等は追撃したとあり、と報じてゐる。

敗戦の責を負ひ蔣介石下野?

後継政権主任には汪精衛起用される

(上海七日) 南京の運命は、後継政権の國府最高幹部部決定するに至り、時局收斂と並に外人間に抗戦能力を示して早くと蔣介石の下野を望む。蔣介石は結局敗

るのと思はれ、入城後一定期間を要するものと見られる。

(上海八日) 蔣介石南京脱出と共に城内の支那軍は強固に陣取られ、敵軍は砲撃を繰り返してはいるが、城は陥落せず。市民は避難し、食糧は乏しく、状況は極めて悪化している。

(上海八日) 外人側への南京攻撃による南京城内の軍隊は、既にかなりの有様である。

南京防衛世方の支那軍と

日本軍の猛撃には抗し得ない

(上海七日) 日軍南京方面に侵入し、七日日本軍の南京空襲の際に支那軍高射砲は、敵機の襲撃に苦戦を喫するのみで、一向打撃が及ばない。南京防衛として日軍南京方面に侵入し、七日日本軍の南京空襲の際に支那軍高射砲は、敵機の襲撃に苦戦を喫するのみで、一向打撃が及ばない。

鎮江を占領

(上海八日) 敵機は南京を襲撃するに際し、鎮江を占領し、南京方面に侵入した。敵機は南京を襲撃するに際し、鎮江を占領し、南京方面に侵入した。

蕪湖追圍の十七キロ

我軍河上橋に到達

(蕪湖八日) 蕪湖より敵軍は追圍中である。我軍は河上橋に到達し、追圍を解いた。敵軍は追圍中である。我軍は河上橋に到達し、追圍を解いた。



CONFETERIA 'EL ABRA'
LIMA 554 U.T. 38-4076

PANDULCE
MASAS
BOMBONES

パンツルセ!!!
マサス・ボンボン
一キロニペソ!!!

御客様には景品として、美饈を御中儀をさし上げます。

支那軍の弱いのと

英国失望驚愕!!

(倫敦七日) 南京陥落を前に蔣介石が南京を退去したとの報は、七日の倫敦各紙が大々的に掲載された。英国政府は勿論政府當局と支那側

靖江に敵前上陸

(上海八日) 我軍は先鋒として海軍力の揚子江上江峡封鎖線に敵前上陸、奇襲に成功し、敵主力陣地に肉迫中であると報じてゐる。

我が政府今後の対策

(東京八日) 南京陥落最早時の問題とあり、我が政府は今後の対策方針を閣議し、慎重

神速果敢

我軍の南京攻略体勢全し

敗敵は甬甯を打って城内に殺到

(東京七日)大本営陸軍部発表、我が第一線諸師団は七日朝、甬甯(南京東北約十八キロ)を占領し、南京方面の体勢を完全せり。

(南京東方八キロ)湯山(南京東南十五キロ)に亘る敵の本防線線まで占領し、南京城攻めの体勢を完全せり。

(上海六日)南京は既に三方より包圍され、落城は目下迫つてゐるが、金壇より進撃した敵隊、下枝許隊は六日夜、遂に高橋門を突破し、大校場飛行場まで占領し、今や南京城壁は指呼の内に迫つた。

(上海六日)包圍を始めた敵は甬甯を打つて南京城内に殺到してゐるが、蔣介石の新鋭たる第三十六、第八十七、第八十八の各師の一師も六日夕刻より夜陰に來り、河岸へ後退を開始した模様である。

蔣介石夫妻

飛行機で南京を脱出

(上海七日)漢口よりの報に依れば、蔣介石は宋美齡と共に今晩飛行機にて南京を脱出、江西省某所に到着した、おそろしく南昌と推測される。

南京城内在留外人

何れも自國軍艦に引揚ぐ

(上海六日)南京衛戍司令唐式遵は六日夕刻、南京西門の城門を一宵に閉鎖するやう命令を發し、更に外人に城外退去方を通告、二三の通信員を除き、外人は何れも自國軍艦に引揚げた。

蕪湖の陥落も迫る

(公徳七日)七日朝、蕪湖縣城を占領した蕪湖野添、小淵井、片岡の各師団は、蕪湖を包圍すべく休養の暇もなく、猛進を続け、長山頭、双王廟の各師団を次々突破し、午後五時には蕪湖、宣城中間に在る清江鎮師団に突入した。蕪湖まで余すところ三十キロに過ぎず、蕪湖の陥落も一兩日中の内に迫つた。

南京陥落後様を見ても

帝國の根本方針闡明されん

(東京七日)政府は七日閣議で南京陥落後の日支關係重大な點に處すべき帝國の根本方針を闡明するに意を盡し、一致したるの解せられる。

韓復榘の偽裝親日的態度

愈々その正体を曝露す

山東方面の和平工作全く絶望

(天津六日)山東方面の情勢は、既に六日某方面に達した。韓復榘の偽裝親日的態度は、愈々その正体を曝露し、各地に於て、行人遺留物等の掠奪が行はれ、更に山東第三路軍は、未だ南京のデマ放送に誤まらぬ限りは、皇軍進撃の氣勢を挙げざるを得ず、既に同方面の和平工作は全く絶望視されてゐる。

我が荒鷲部隊

龍海線開封を爆撃

敵の北支作戦系統混乱

(天津七日)龍谷師団の龍谷師団は六日午後二時四十分、龍谷上空を飛翔し、龍海線開封を爆撃し、敵の北支作戦系統を混乱せしめた。龍谷師団は、龍海線の開封を爆撃し、敵の北支作戦系統を混乱せしめた。龍谷師団は、龍海線の開封を爆撃し、敵の北支作戦系統を混乱せしめた。

京津地方治安維持会

「國稅事務を統一」

(北京七日)北支治安を定するに、國稅事務を統一する。

廣田外相の参内

(東京七日)廣田外相は七日午後三時、宮中へ参内し、天皇陛下に拝謁し、南京陥落後の日支關係に處する帝國の根本方針を闡明するに意を盡し、一致したるの解せられる。

在仏前赤軍將校

「スターリン」政府の肅正工作を曝露

(巴黎六日)ソビエト政府の肅正工作が益々熾烈を極め、共に在外ソヴェト官吏の動搖は漸く顕著となつて来たが、目下巴黎に滞在中の前赤軍將校で、前国防工業研究所所長ワルテ

生徒募集

- 一 昭和十三年度新入生募集
- 一 例年ノ如ク十二月十三日ヨリ翌年二月末日マテ夏季講習会ヲ開催ス
- 一 第一学年入学者(九五年三月以前生)ハ昭和十三年三月ヨリ実施予定ノ公認小学校入学者ノオ積リテ申込マセ
- 一 第二学年以上ニ編入希望者ニハ本校学年ニ相当スル学力査定、上入学セシム
- 一 入学式ハ十二月十二日(日曜日)午前九時本校ニ於テ挙行、保護者同伴ニテ来校アリ度シ
- 一 入学児童ノ生年月日ハ当園チ指役場ヨリ發給セラレタル生
- 一 生証明書、同附ト同一トナス
- 一 入学申込書ハ本校ニ用意アリ
- 一 其他詳細ハ本校ニオ問合せアラレ度シ
- 一 休業日割一月一年、二年、六年、火二年、四年、五年、水二年、六年、木二年、四年、五年、金二年、六年、土二年、四年、五年、毎日午前八時ヨリ十一時マテ

在亞日本人會附屬日本小学校

「愈々南京が陥ちる。南京が落ちる」 偉業達成瞬前全國民の胸は高鳴る

（東京七日）紫金山々頂に日章旗翻々と輝き渡る。「愈々南京が陥ちる。南京が落ちる」。六日夜から懸念を以て入り場のニエースを待つてゐる全國民の胸は高鳴る。あゝ、南京入城。偉業は今や達せられる瞬前とはなつた。

帝都の興奮

「お祭騒ぎは止めて靖國神社へ戦はこれからだ」
三宅坂と霞南は感謝の喜びと沈黙の威歴

帝都東京の街々は朝から沸き返つてゐる。左が最も動かし難い我が陸軍省前部は三宅坂と霞南で「お祭騒ぎは止めて靖國神社へ」戦はこれからだ。まじき感謝の喜びと沈黙の威歴だ。然しこれでは何と喜ばずにはゐられよう。押へ切れぬ國民の歡喜はもう発火兵に達して探灯行列、旗行列の支度が、陥落のこの日の用意に註文した。「萬歳南京陥落」「祝南京陥落」の大旗が向に合はぬと慌て、旗屋さんへ矢張りやうな注文だ。街に飛ぶ旗の一面は全國民に帝都では直ぐにも百万人の祝賀大衆行進が用意されてゐる。靖國神社では在京部隊、学校軍学隊の参列の下に、本殿脇の假宮に祀る今季最大の戦没英靈に榮ある報告祭が執行されることである。

ハリ切ろ放送局

では大したハリ切り方で特種番組を作り上げた。作リ上げた特種番組「南京陥落祝賀の夕」

（東京七日）世界中の耳が待つてゐる南京陥落はその耳の元締放送局でも待たれてゐる。報だ、この一報あり次第一度は沸き返つてあう日本が先には負けてはあらぬと放送協会が南京陥落祝賀の囀り加

へた押果研究会の約三十名宮城道雄社中の興拜曲七名とAK管絃樂團と三樂團で演奏するといふ豪華な振舞。國民歌謡「海行かば」は始まつて田代景三算の細める歌の曲は遠く江南の戰場にまでその華やかさメロデーを伴へやう。最後はB.Kの千人合唱によつて康社は戦捷を讃へ、全國民の死びを慰渡の上で囀り狂はせやうといふ素晴らしい意気込みである。

皇軍の南京肉迫を 伊太利新聞絶讃

（羅馬七日）上海戦線の進展は多大の関心を持つ伊太利新聞は再三日來我軍の南京肉迫に因する上海進軍各社とも第一面トップに掲げて皇軍の猛進振りに絶讃を送つてゐる。六日朝刊以後皇軍の位置を南京へ後廿五キロ、後五キロといふやうに報道し、七日午後には遂に一ヤロに迫るこの号外を出し戦捷に輝やく防共戦線の前途を祝福してゐる。南京陥落後の時局見透しは就き伊太利

官界方面

では既に地方行政に於ける日支両軍間に部队的な小規模の衝突があると一段落を告げ、支那軍は有効に抵抗が出来ないだらう。この観測を下して居り、支那

側は上海及び南京を含む江南一帯を喪失したことは事実將介石及び國民政府の兵站断たる浙江歐州の喪失を意味し、軍に財政的見地からのみ見ても將政權の瓦解は既に決定的だと思はれてゐる。

伯林新聞も一斉に 南京陥落日曜を報ず

（柏林七日）七日の伯林新聞は一斉に南京陥落日曜を報じ、特にベルゼン・ツワイツング紙は事変の山は既に過ぎた、南京退去後の國民政府は最早中央

郷土藝術を總披露する 沖繩海協支部備演藝会

沖繩海外協会支店支部主催の演藝会は、沖繩縣基金募集演藝会は、愈々来る十二月（即ち午後三時）より市内アスクエナが街一五八番地に於て開演、演藝色澤厚く、その種文化及び大和文化の交流融合によつて生れた独特の琉球藝術を総披露することになつた。

日亜貿易に關し モンテネグロ氏講演

亞細亞商業會議所では最近海關の強日代理公使アルツィーモンテネグロ氏を請じて、本九日午前十一時より同會議所（アベニゲテマ）三五六番地）に於て、日亜貿易の現在及び

政府の立場を失つたものを見れば、さうと報じてゐる。
（東京八日）政府は国内バルブ増産五年計画遂行の一環として北滿鐵道原料に資本金一億圓程度の大人類バルブ会社設立計画を進めてゐる。

（東京八日）航空研究所の長距離機は整備の整備も成つたので十三日以後天候次第、木更津まで下す事に決定した。

本号に附すべき西語版一回休みます

賣店
山下登業中のカ
フエー店 好条件
にて沖繩県人に譲渡した
市内アルバーストマス街四六
比嘉昌龜

山下汽船発着
山里丸(全田船) 本月廿二日入港
南滿丸 明年二月五日入港
山彦丸 沖本廿二日入港
武港 二月廿八日入港

ガルシア大將の招宴
ドメックガルシア大將夫妻は本
九日午後七時より自宅に吾島
代理公使夫妻を始め知友一同
を招待、寺嶋氏送別会を兼ねた
お茶の会を催す筈

日本語講習会終業式
本九日午後五時より「クルアウ
ニベルンタリオ」に於て日語文
化協会日本語講習会終業式が
挙行される。

愛國機軸金三万廿五ノ(註)
なるまき移転 市内テマカブ
コ街に永年終
業してゐる松田清市氏の名手
は、今般市内ホルバル街一五五四
番地へ移転拡張した。

